

第75回 (2024年度) 定時株主総会

2025年6月24日

東洋合成工業株式会社

- ・ 米国 → 消費堅調、関税措置により先行き不透明
- ・ 欧州 → 個人消費持ち直し、緩やかな回復
- ・ 中国 → 低成長
- ・ 日本 → 円安、インバウンド需要、緩やかな景気回復
- ・ グローバル：インフレ鎮静化、露ウ、中東紛争

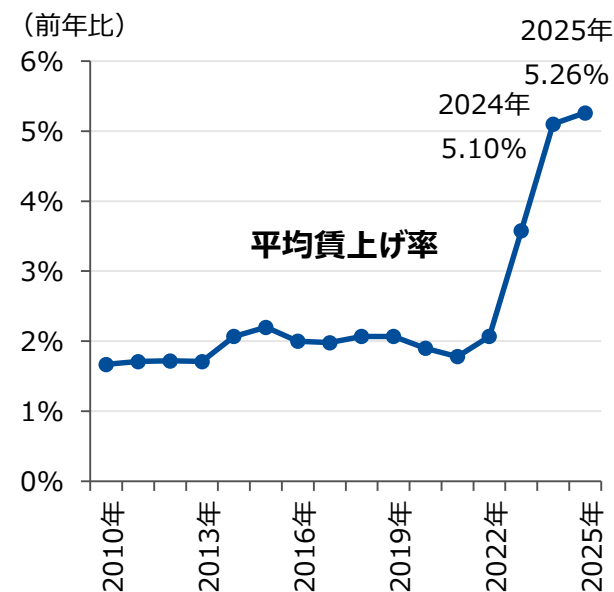
円安



原油安



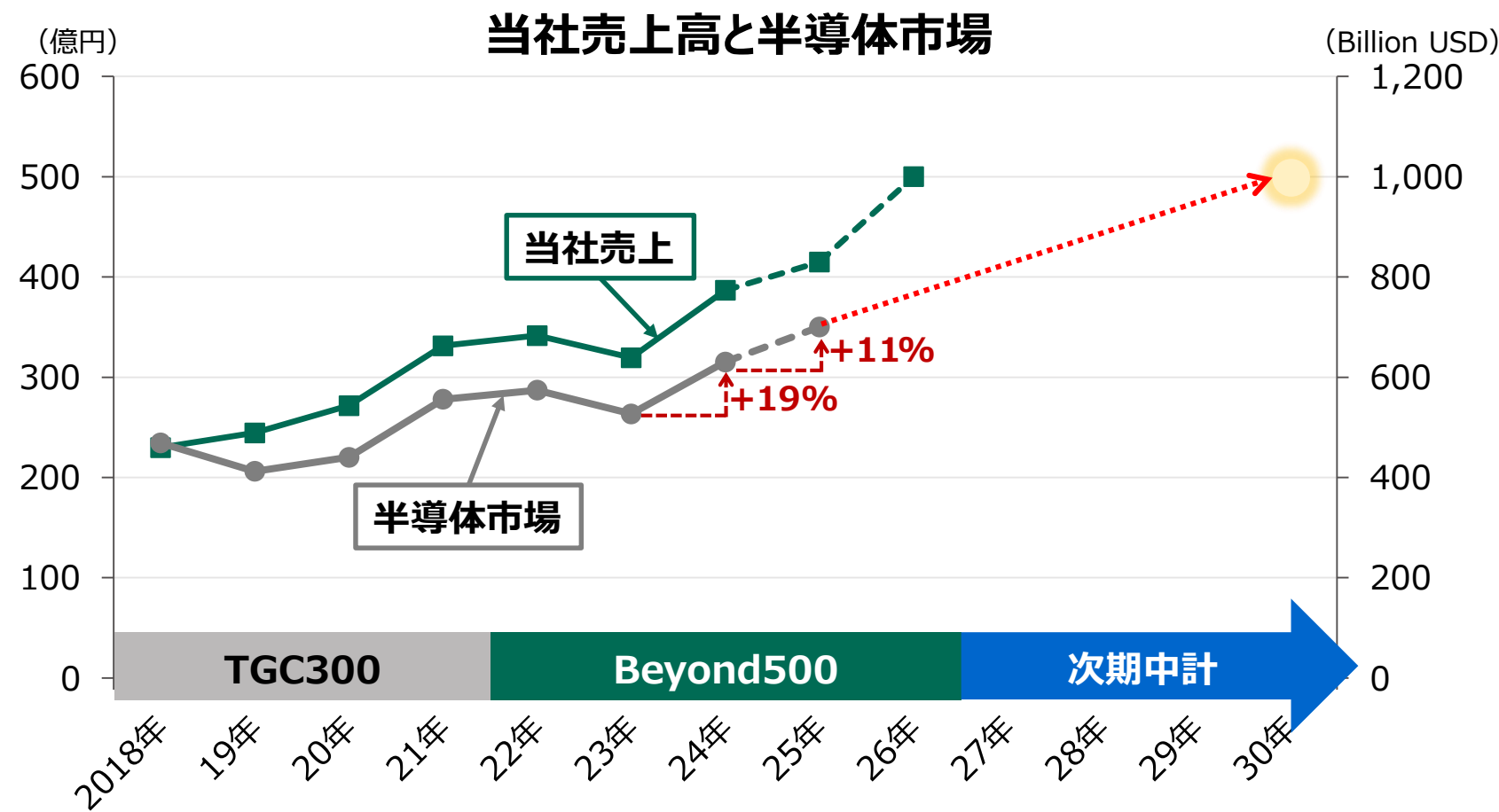
賃上げ継続



出所：連合レポートから当社作成

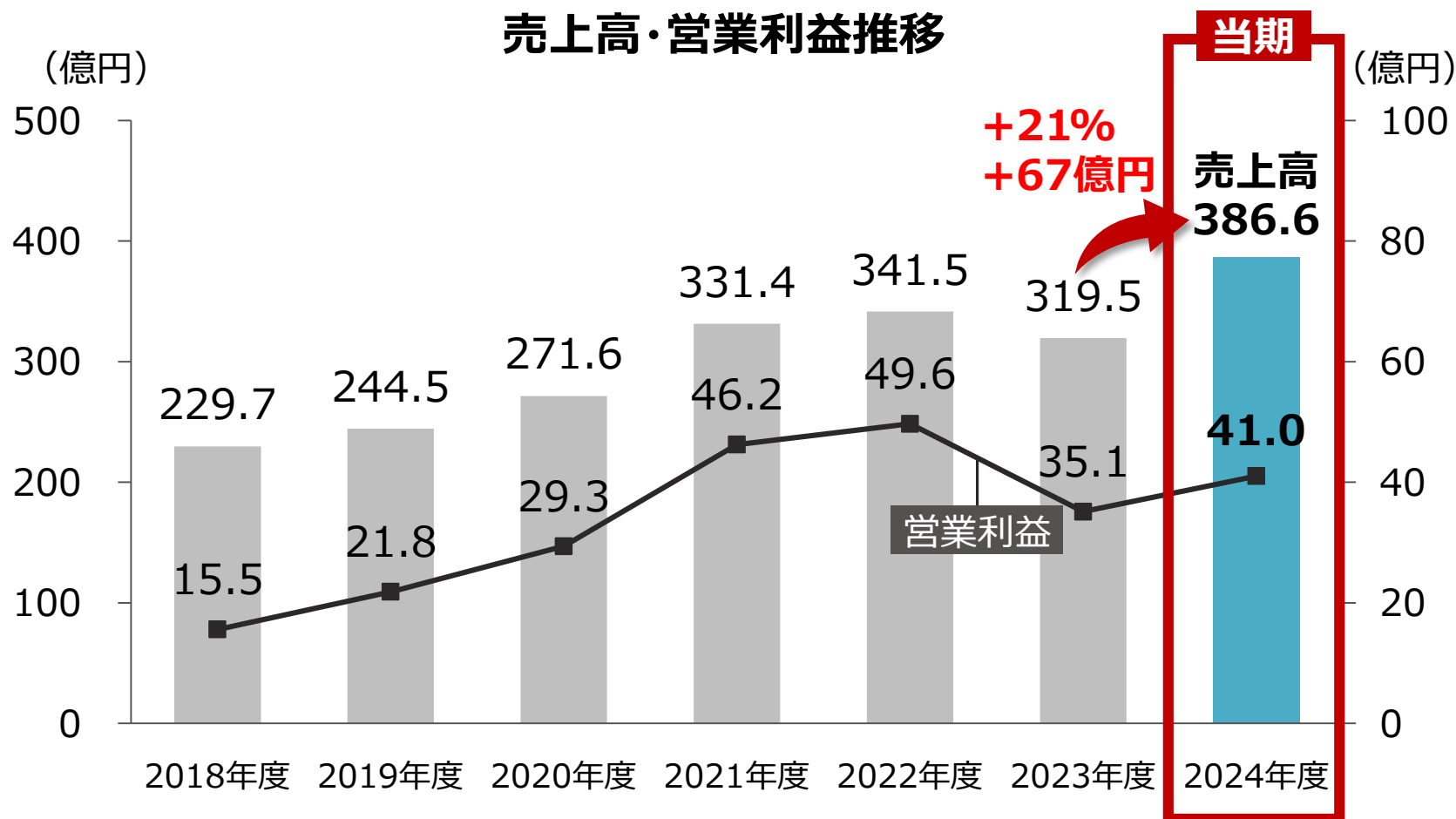
Copyright © Toyo Gosei Co., Ltd. All rights reserved.

- 半導体市場：1980年代から成長継続。
- 当社売上高：市場拡大と共に、着実に成長。



売上高と営業利益の推移

- ・売上は、昨年度の半導体市場の調整から回復し、前期比+21%の386.6億円。
- ・営業利益は、前期比+17%の41億円。



- 売上高は、先端半導体向け材料の増販などにより、386.6億円、+21%。
- 営業利益は、新設備や人員増強の固定費増を売上増で吸収し、41億円、+17%。
- 純利益は、法人税特別控除もあり、32.7億円、+37%。

(億円)	前期	当期	前期比	
			増加額	増加率
売上高	319.5	386.6	+67.0	+21%
売上総利益	76.0	90.5	+14.5	+19%
営業利益	35.1	41.0	+5.9	+17%
経常利益	33.9	39.9	+6.0	+18%
当期純利益	23.9	32.7	+8.8	+37%
期中平均為替レート	¥144/\$	¥153/\$		

生産能力増強の進捗

- 半導体市場の拡大に向け、現中計（Beyond500）で生産能力増を策定。
2024年9月に先端半導体向け材料の生産ラインの増強が完成し、大型設備投資はすべて完了。
- 26年3月期は、新設備を活用し、最先端品質での供給拡大を狙う。



現在まで完成した設備



香料工場 管理分析棟（2023年8月、3億円）
分析能力・職場環境の整備・安定供給の向上



淡路工場 第2屋内充填所（2024年3月、10億円）
半導体向け溶剤、従来比約3倍の出荷能力増強



千葉工場 感光材開発分析棟（2024年5月、30億円）

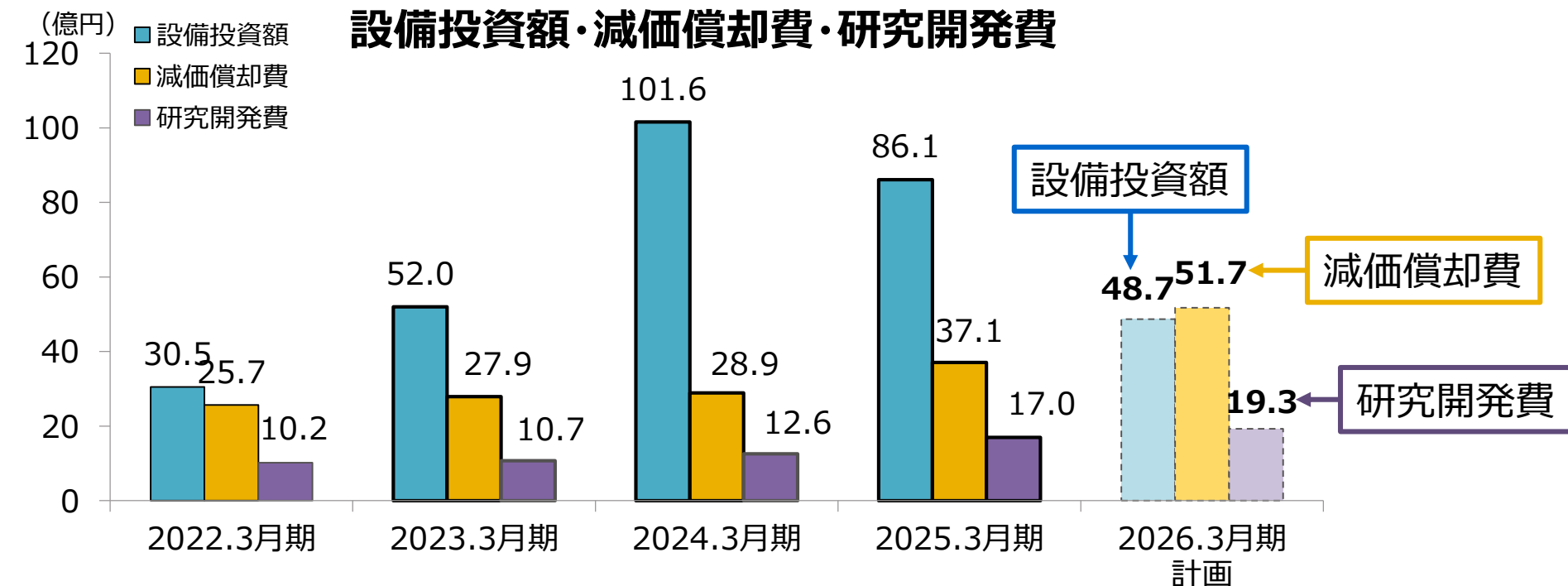
研究開発、品質管理を統合、製造技術力・分析体制を大幅強化



千葉工場 第4感光材工場 能力増強（2024年9月、120億円）

先端品向け生産能力を2022.3期比1.8倍に拡大

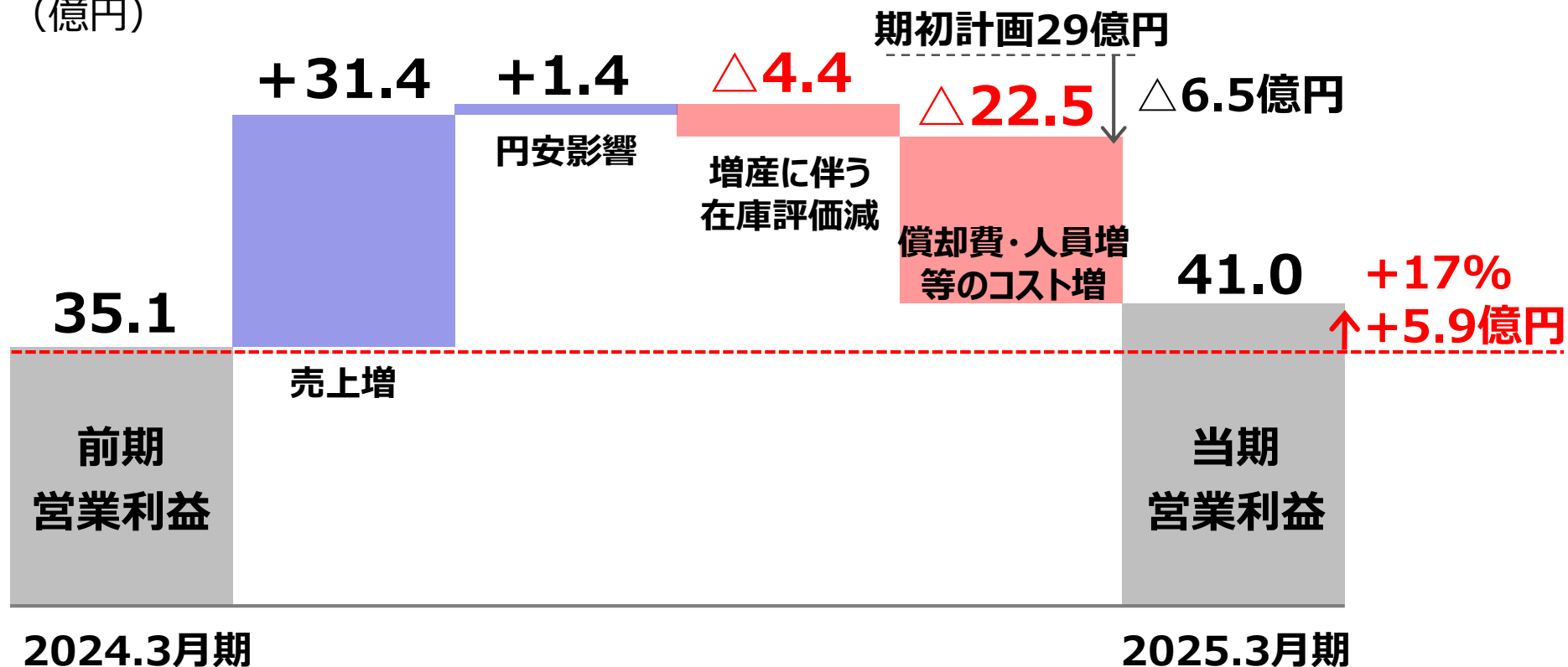
- 24年：感光材開発分析棟、第4感光材工場増床、香料工場管理分析棟、淡路工場屋内充填所など、設備投資101.6億円。
- 25年：感光材開発分析棟、第4感光材工場能力増強など86.1億円。大型投資完了。
- 26年：新設備やMESの稼働開始により、減価償却費は51.7億に増加。



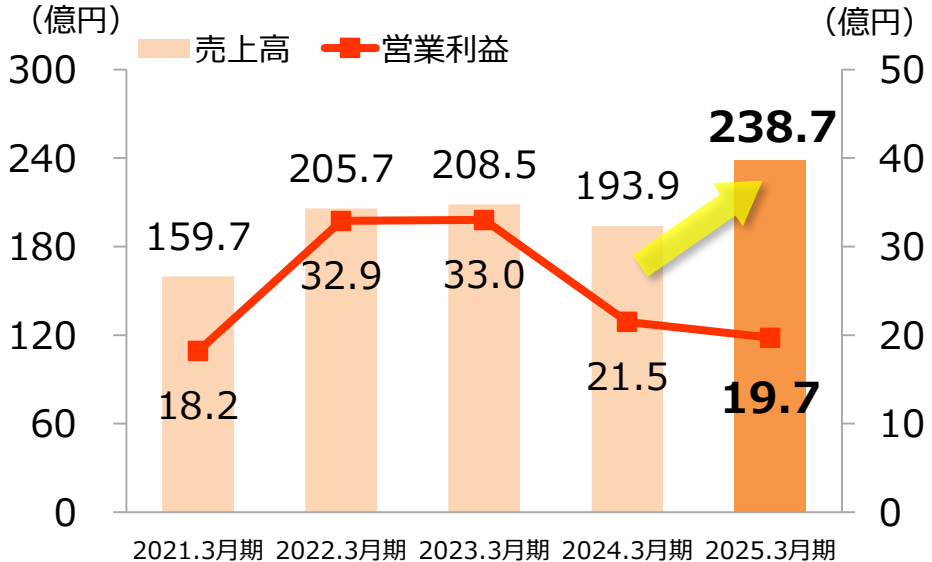
営業利益の前期比 増減要因

- 売上増により31.4億円の増益効果。
- 新設備の完成と人員増により、固定費は増加。期初計画 固定費増29億円の抑制に努め、22.5億円で着地。
- これら費用増を売上増で吸収し、営業利益は41億円、前期比+17%の増益。

(億円)

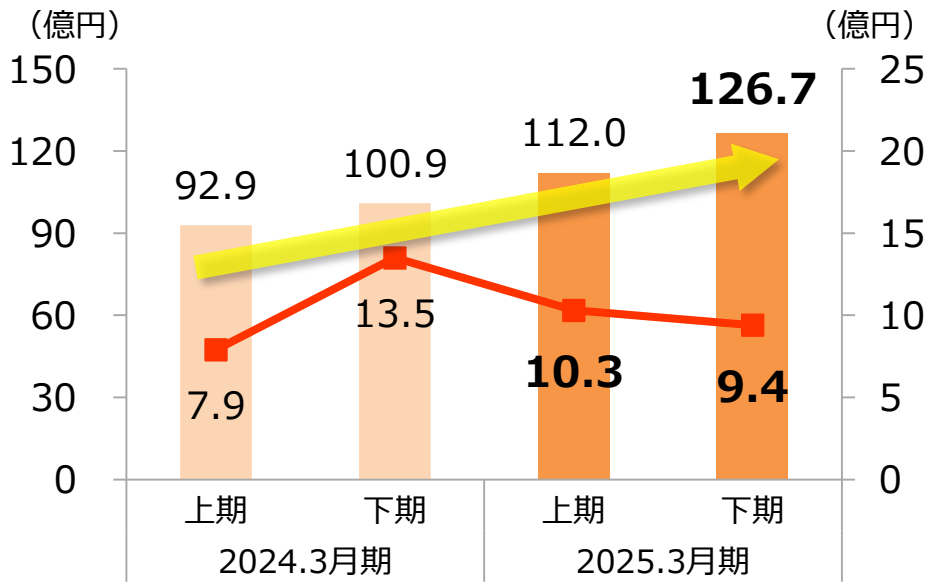


売上高・営業利益



売上高：238.7億円 (+23%)

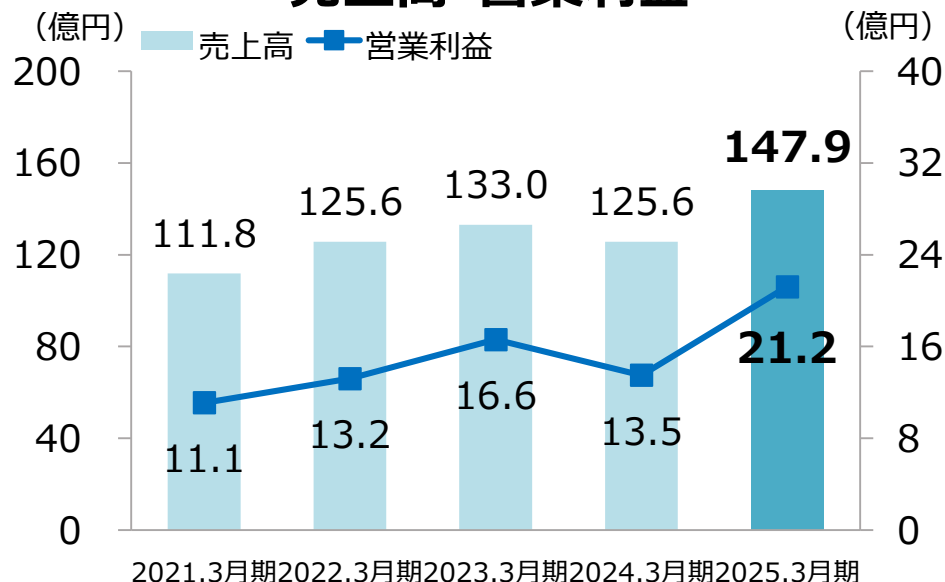
- 通期、半期ともに過去最高。
- 生成AI需要増により、先端半導体向け材料の売上増。
- ディ스플레이も、中国を中心にパネル生産が一定レベル保たれ、販売堅調。



営業利益：19.7億円 (△8%)

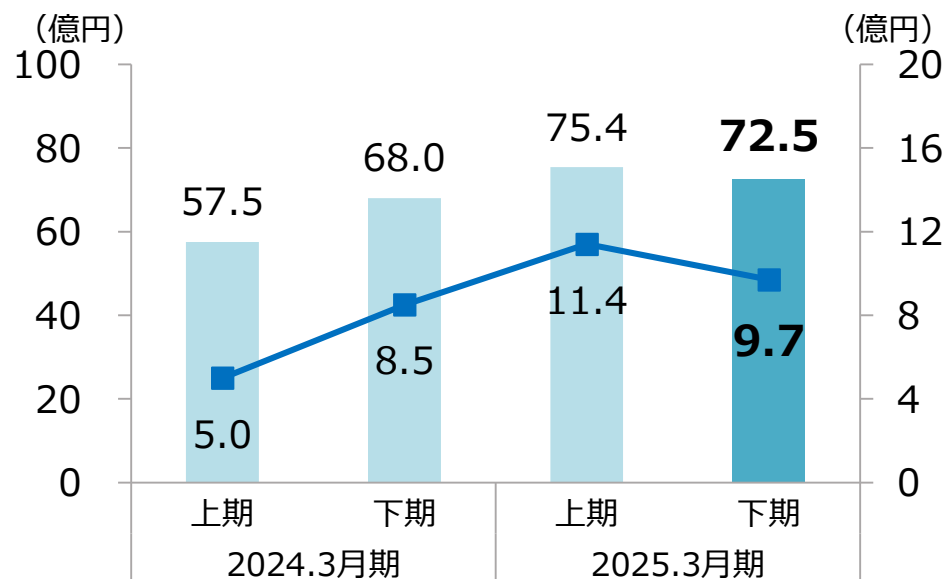
- 新設備完成により固定費増。増産により利益水準を維持。
- 今後も新設備を活用し、事業拡大を狙う。

売上高・営業利益



売上高：147.9億円 (+18%)

- ・ 過去最高
- ・ 半導体・電子部品向けの高純度溶剤増。
- ・ 香料材料は、海外販売が好調。
- ・ タンクターミナル事業は、国内石化再編により、輸入品増。タンク契約率は高水準。



営業利益：21.2億円 (+57%)

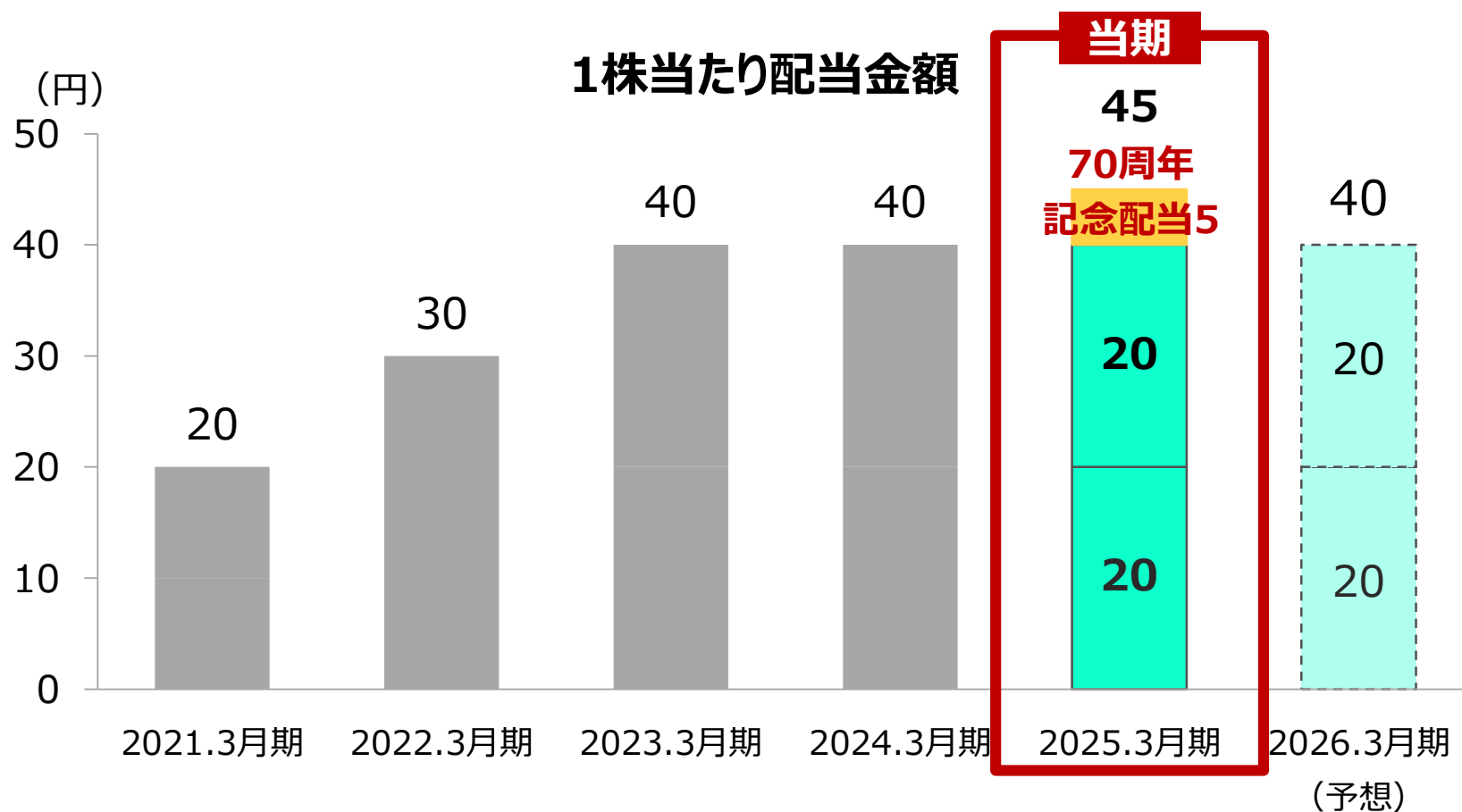
- ・ 高純度溶剤の売上増加等により増益。

貸借対照表

- 運転資金（＝売上債権＋棚卸資産－仕入債務）を8.1億円改善。
- 設備増強により、有形固定資産は38.3億円増、借入金は57.2億円増。
- 純利益増により、株主資本は29.6億円増。
- 自己資本比率は 1 pt向上し、37.7%。

（億円）	前期末	当期末	増減額	（億円）	前期末	当期末	増減額
流動資産	226.8	240.6	+13.8	負債	376.9	410.3	+33.4
現金預金	36.4	35.9	△0.4	仕入債務	40.0	56.7	+16.6
売上債権	72.2	73.7	+1.4	借入金	220.0	277.3	+57.2
棚卸資産	103.3	110.5	+7.1	その他	116.7	76.2	△40.4
その他	14.7	20.4	+5.7				
固定資産	368.3	417.9	+49.5	純資産	218.2	248.3	+30.0
有形固定資産	338.6	377.0	+38.3	株主資本	216.3	245.9	+29.6
無形固定資産	15.7	25.9	+10.1	その他	1.9	2.3	+0.4
投資・その他	13.9	15.0	+1.0				
資産合計	595.1	658.6	+63.4	負債・純資産合計	595.1	658.6	+63.4

- 中間20円、期末は記念配当5円含め25円、年間45円。

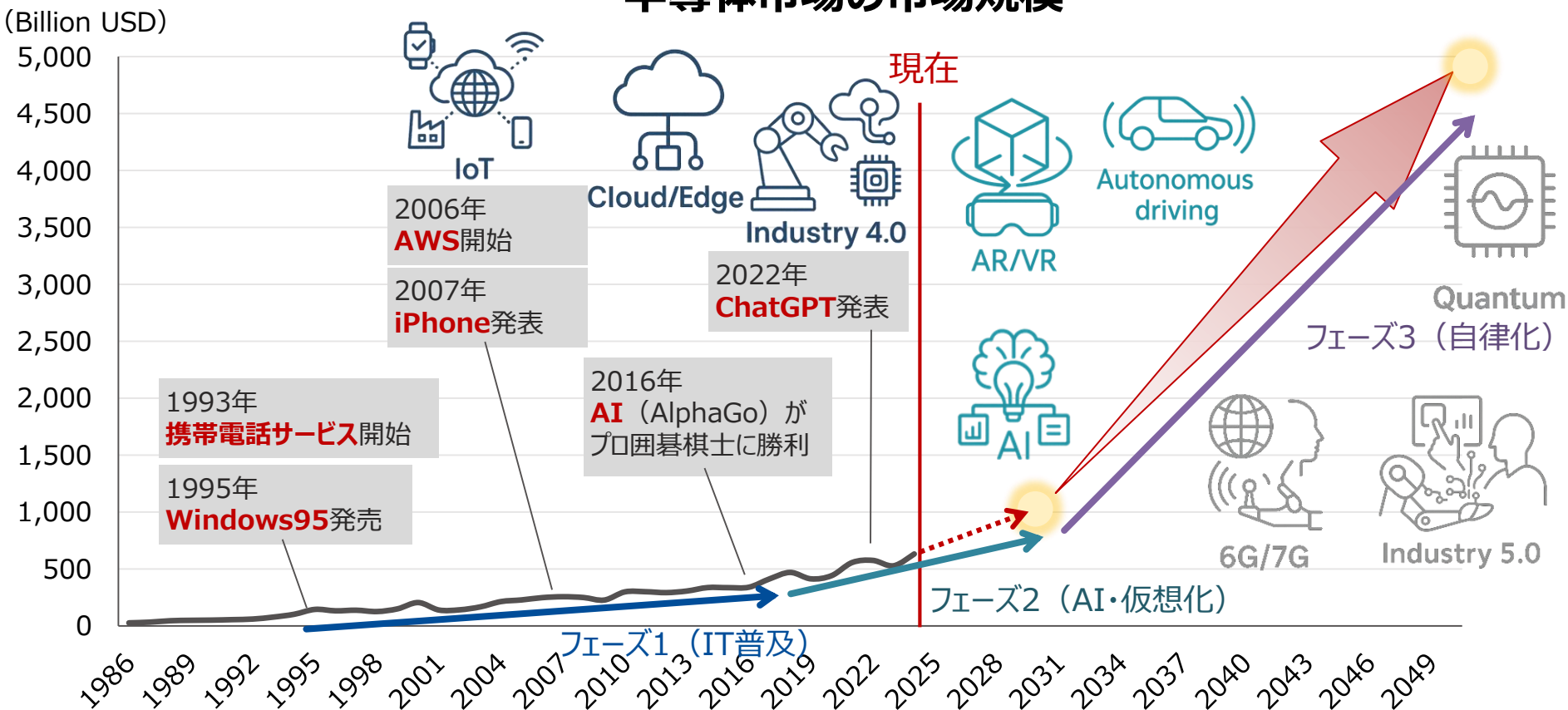


今後の成長に向けた 対処すべき課題

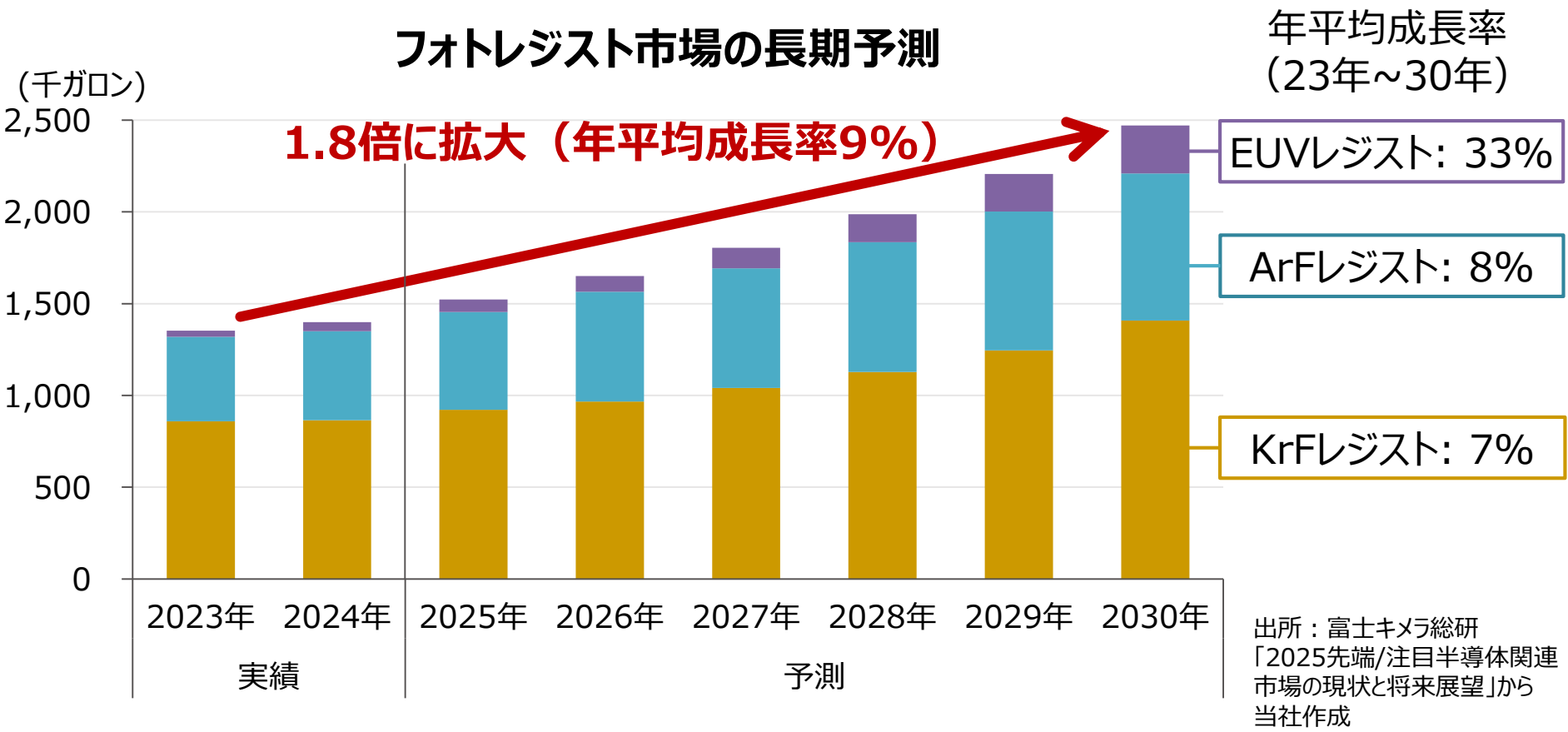
半導体市場の拡大と今後

- 半導体市場は過去40年間、年平均成長率9%で30倍に拡大。
- 今後も成長を維持し、2030年1兆ドル、2050年5兆ドルの見通し。

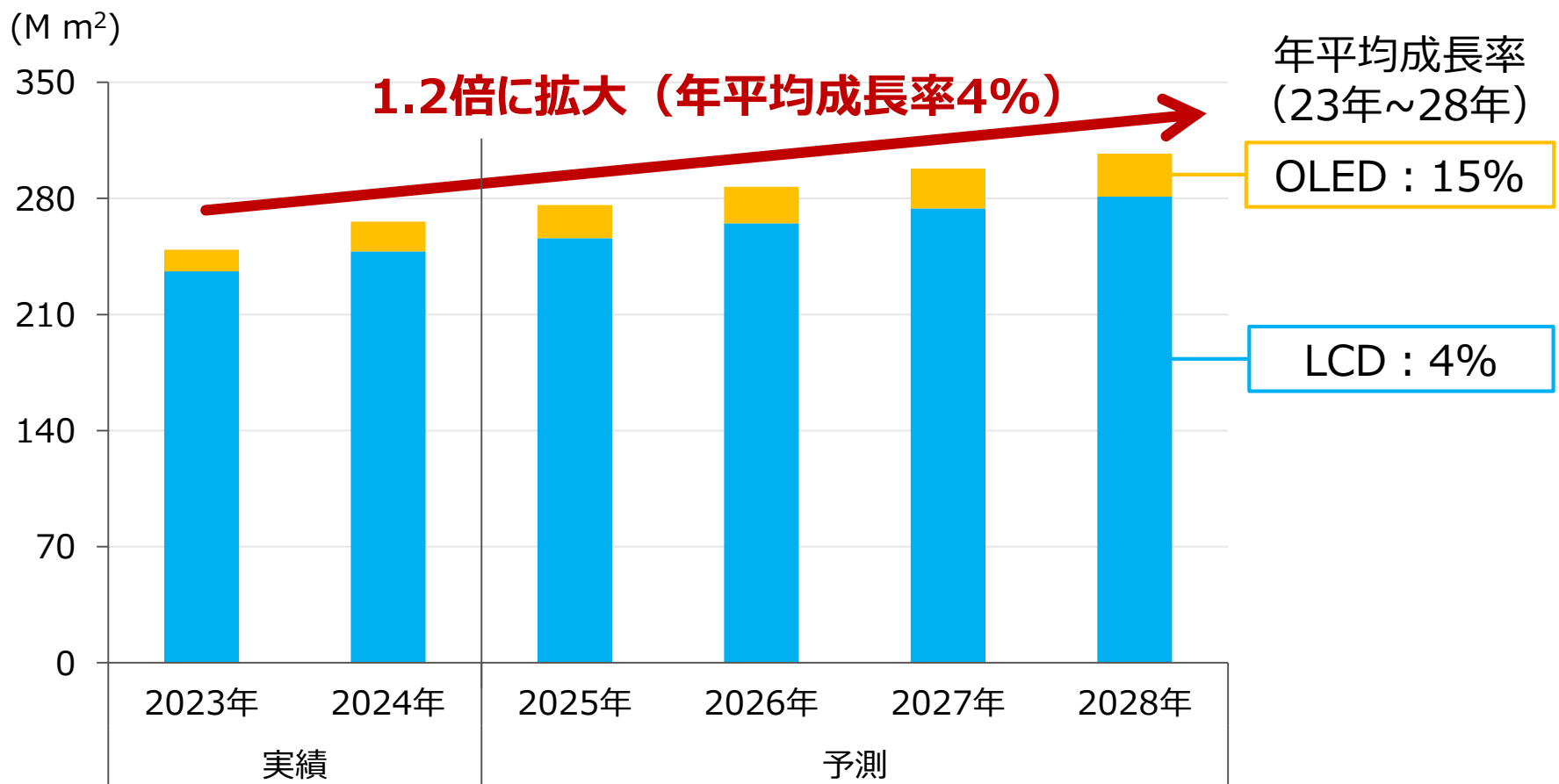
半導体市場の市場規模



- 最先端レジスト（EUV）は、2030年に5倍（2024年比）へ。
- 先端レジスト（EUV+ArF）も2030年に2倍（2024年比）へ。



- ・緩やかな成長が継続（年平均+4%成長）。
- ・2023年～2028年、1.2倍に拡大。



- 1970年代から半導体進化と共に、全世代の感光材を開発、供給。
- 今後も新製品開発、既存製品の強化を図る。

← 線幅 太い

線幅 細かい →

	FPDパネル用		半導体用									
光源	g + h + i 線	i線 (365nm)	g線 (436nm)	i線 (365nm)	KrF (248nm)	ArF (193nm)	ArF液浸 (193nm)	ArF DP (193nm)	ArF MP			
									EUV (13.5nm)			
ノード	～2,000nm	～1,000nm	～700nm	～200nm	～110nm	～65nm	～45nm	～22nm	～7nm	～5nm	～2nm	～A14 (1.4nm)
用途	テレビ用、 一般用	中小型 パネル スマホなど	IGBT、LCDドライバ、LED		DRAM/NANDメモリ 需要拡大			AI向けメモリ 生産拡大				
			後工程用パッケージ材料 CMOSセンサー			先端ロジックLSI 需要拡大			AI向けロジック半導体 EUV生産拡大			
市場	緩やかに 拡大	中国 パネル 需要拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	横ばい	量産拡大 半導体設備投資 拡大		半導体設備投資 加速		開発中	
当社製品	感光材（PAC） 高純度溶剤				光酸発生剤（PAG） Polymer 高純度溶剤							

- 全世代の感光材を供給する世界唯一のメーカーとして、
「2020年版グローバルニッチトップ企業（素材・化学部門）」に認定。



2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」を選定しました

2020年6月30日

▶ ものづくり/情報/流通・サービス

経済産業省は、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する優良な企業113社を、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として選定しました。

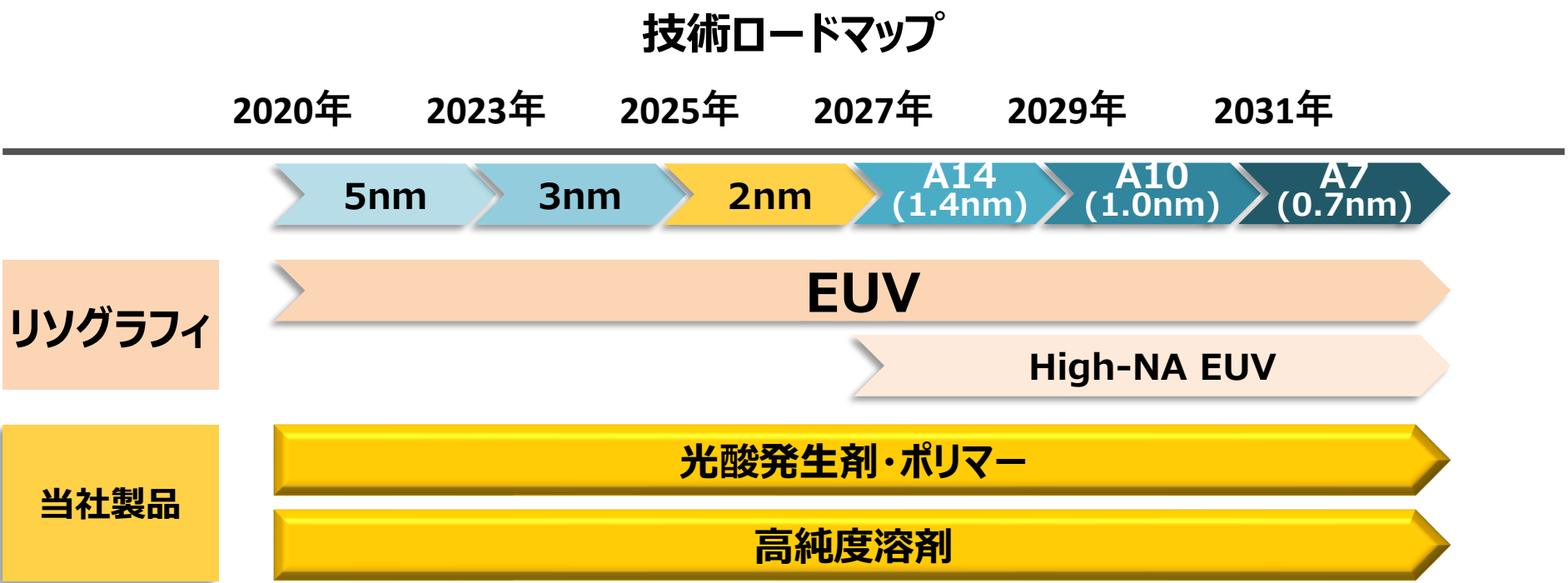
1. 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」について

前回（2013年度）に実施した「グローバルニッチトップ企業100選」の後、デジタル経済の進展や世界の政治経済情勢の変動、少子高齢化のような社会構造変化など、日本企業を取り巻く事業環境は変化してきています。

こうした状況を踏まえ、新たな厳しい経済環境の中においてもニッチ分野で勝ち抜いている企業や、サプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する企業などを、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として新たに公募し、選定を行いました。



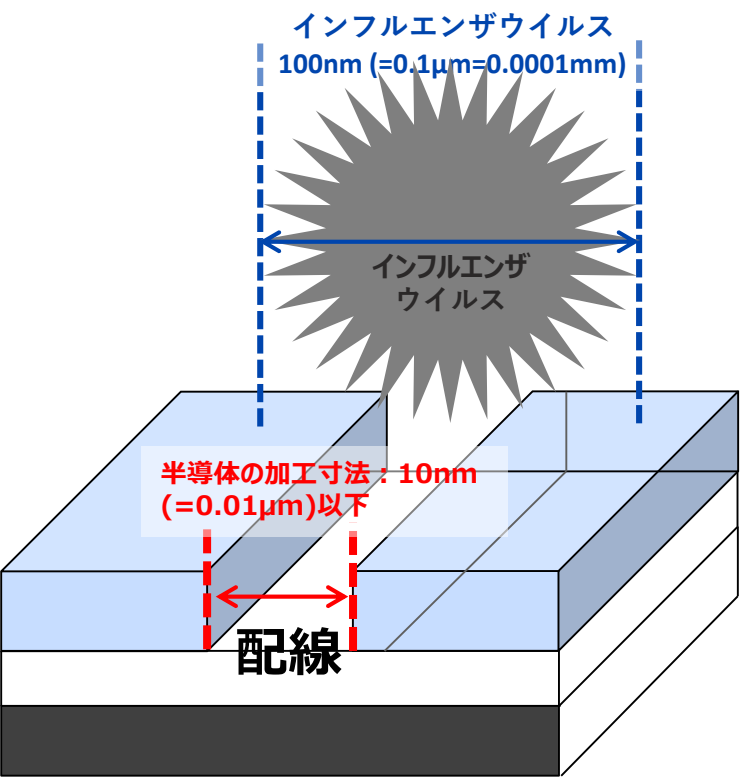
- 半導体の進化は継続。高性能化には高純度な感光材や溶剤が必須。
- 生産能力増だけでなく、製造・分析技術開発、製造データの見える化DXなども進め、次世代品質を実現。



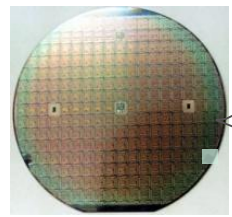
出所：IRDS 2024

- 先端半導体の線幅はウィルスの1/10。極限まで高純度化した感光材・溶剤必須。
- 70年の高純度化技術、50年の感光材実績、世界シェア50%以上を駆使。

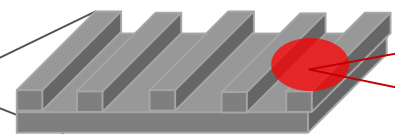
10万分の1 mmを管理



シリコンウェハ



直径30cm



10nmの
欠陥1つでNG！

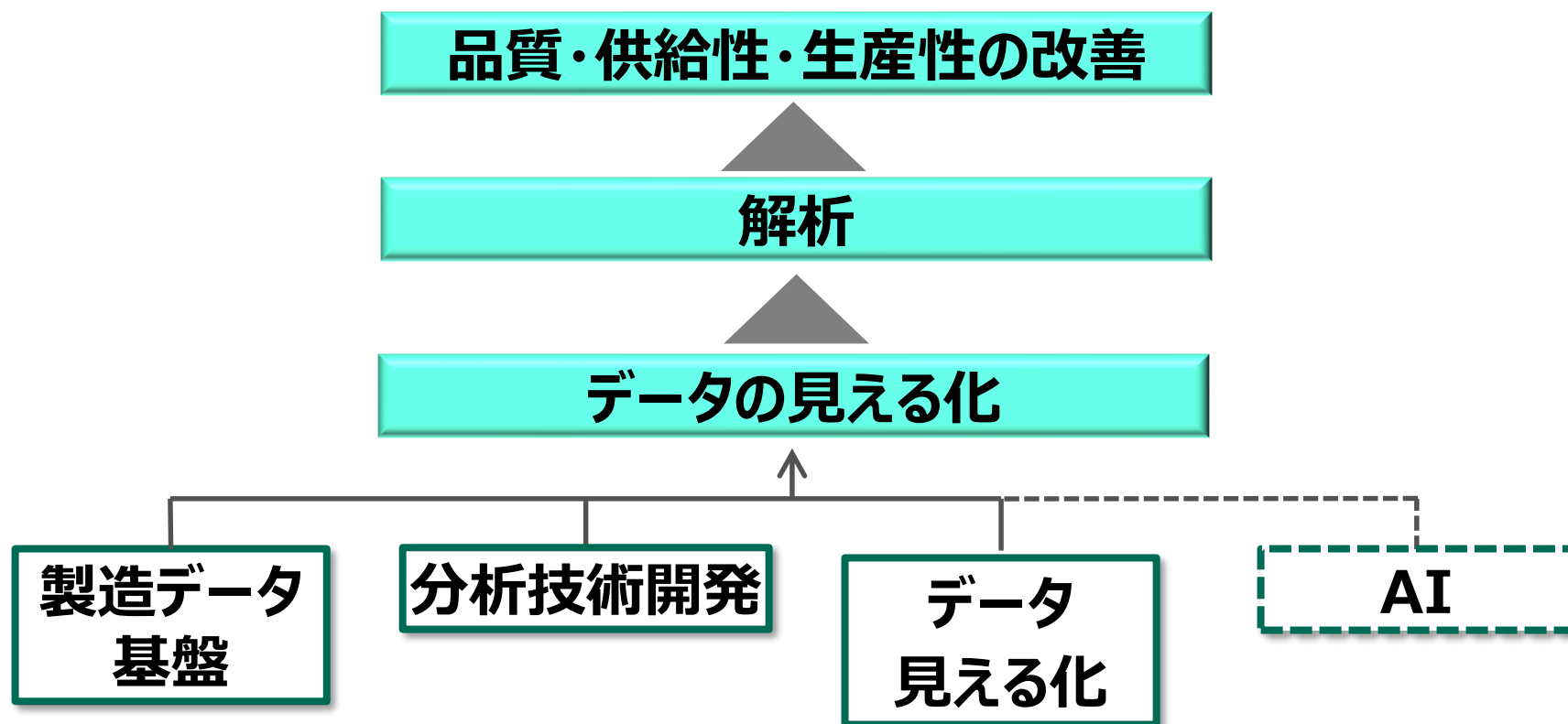
ウェハ1枚を日本の面積に例えると。。



日本の面積で
10円玉1枚を管理！



- 製造と分析のデータを連携させ、製造データ基盤を整備。
- 各種データは、わかりやすく解析・共有し、品質向上 & 生産性改善へ。



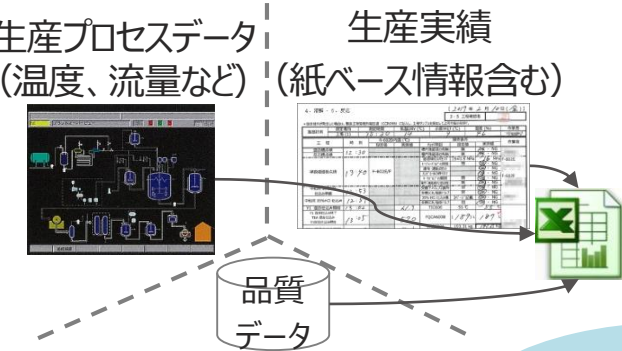
●製造データを集約し、スピーディに解析する情報システムを構築

Before

製造データがどんどん蓄積
データも散在

データ数は、
軽く数十万点を超える！

人がデータを集めてExcelで解析
一日がかりでも
終わらないことも
...



毎回毎回データを集めて、
それを解析するのは
時間もかかるし
間に合わない

解析に時間が
掛かり過ぎると
再発リスク有

トラブル時や
お客様の
調査依頼に
各種データを
選んで集める
だけでも大変



After

製造データを
一元的に管理

収集されたデータを、
一元的に統計解析！

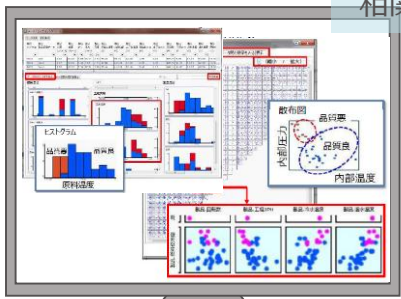
生産
プロセス
データ



生産・
品質
データ

品質
データ

生産実績
データ



人が気づかない
相関も見え

過去ロットのデータから、
品質に影響を与えている
パラメータが分かりやすい

生産実績と品質
データが一元管理され、
データ収集の手が
大幅に削減。
装置や品目などを
様々な軸で検索
できる



データ収集から
数時間以内に解析、
打ち手の検討に
時間配分！



高機能な化学品保税タンク計65基

**化学業界：石化再編による機能性
化学品シフト⇒輸入/高純度化学
品ニーズが増加**

「東京湾内最大級の荷動き量」

「高い参入障壁と好立地条件」

- 外環、湾岸高速まで5分でアクセス
- あらゆる荷姿変更に対応、新規参入は困難
- 不況にも強い

**「高機能化学品メーカーの品質管理で
幅広い化学品に対応」**

**「化学専門物流ターミナルとして、サービ
スを差別化」**

- 化学メーカーが運営する唯一のケミカルタンクターミナル
- あらゆる荷姿に対応、独自の分析室も完備

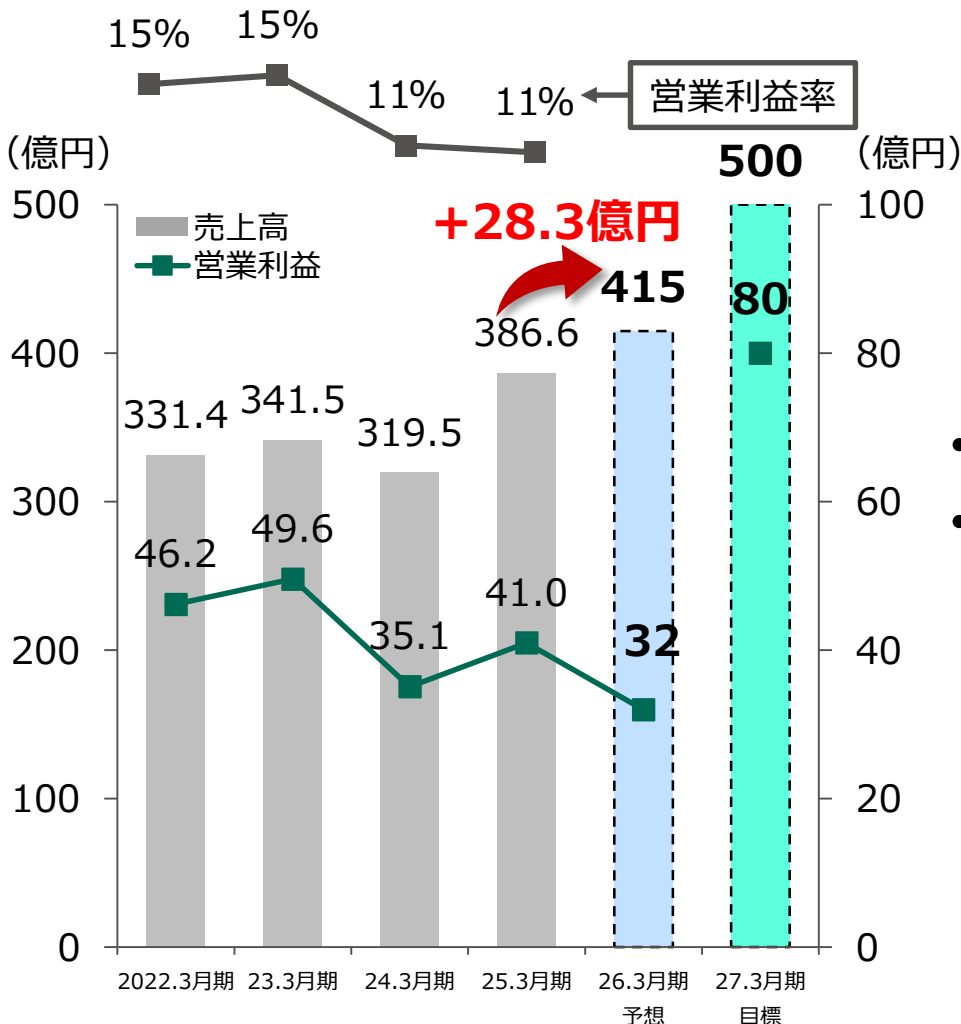


東京湾内最大の荷動き量



1日100台のローリー出荷

業績目標と進捗



Beyond500 (2027.3月期)

売上高：500億円

営業利益：80億円

(営業利益率16%)

- 売上は、市場拡大に合わせ確実に進捗。
- 新設備を活用し、最先端品質を満たす安定供給体制を狙う。

Beyond500期間

- 現中計（～26年）以降も供給能力を拡大。
- 2027年～2029年の設備投資（24年比1.4倍）を計画
- 経済安全保障に基づく助成対象事業に認定（2024年11月29日）。

設備投資と助成の概要

	場所	供給開始	生産能力 想定	設備投資 想定
感光性 材料	千葉工場	2029年	感光材・ポリマー 生産能力1.4倍	約211億円
化成品	市川工場 淡路工場	2027年	高純度溶剤 生産能力3倍	助成額 約70億円



千葉工場



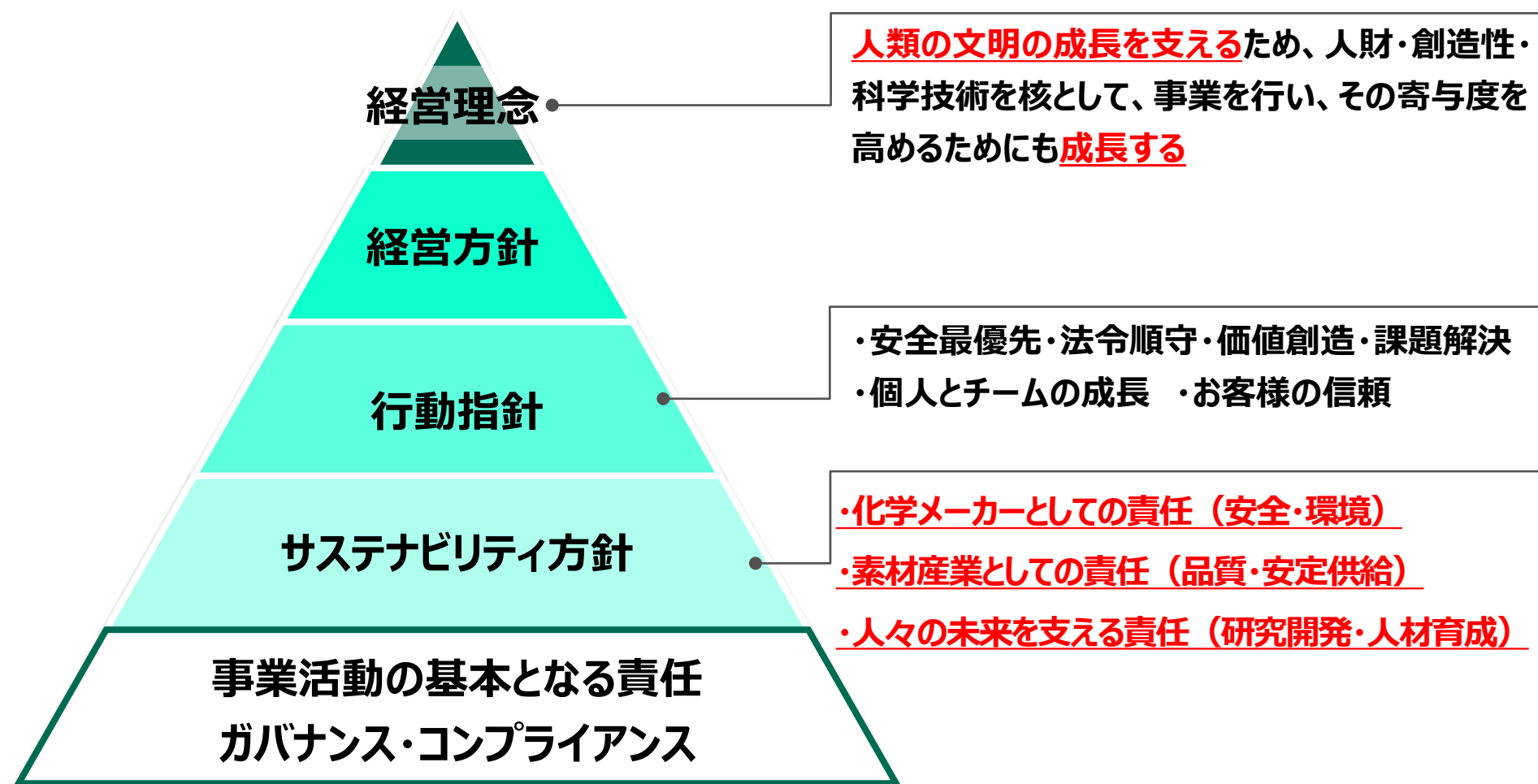
淡路工場



市川工場

持続可能な成長 (サステナビリティ) に向けた取り組み (環境・人的資本・地域貢献)

• 経営理念からサステナビリティ方針を策定



- **環境:** 持続可能な発展を目指して、CO₂や環境影響の低減を推進。
- **人的資本:** 働きやすい職場環境と人材育成で、事業成長を支える組織づくりを促進。

気候変動・環境影響

- 「ロードマップ」や「アクションプラン」を策定
- ① CO₂削減目標：2013年比32%削減、川下影響の算定
- ② エネルギー消費の可視化と最適化
- ③ 製品生産におけるCO₂排出量算定の仕組みや、グリーン電力を導入。
- ④ 溶剤リサイクル、廃棄物削減により再資源化を推進

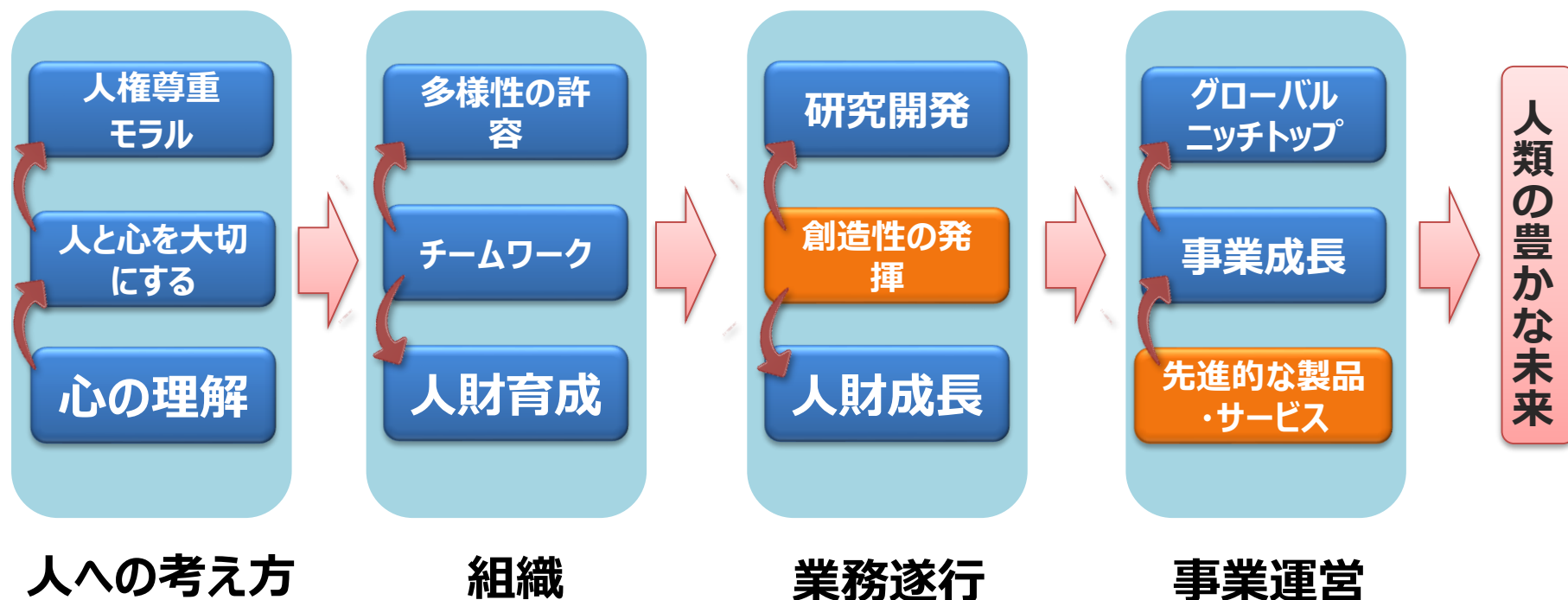


淡路工場の
太陽光パネル

人的資本の充実

- 自律的に意思決定できる人材と組織
- 個人成長が、チームの成長につながる組織マネジメント
- 個性を尊重し、本音でコミュニケーションする人材育成
- 価値観や経験の違いを活かす企業文化

- 心の理解を深め、良きチームワークを生み、人を育て、創造性の発揮により、先進的な製品/工程開発を行い、事業成長、豊かな未来に繋げる。



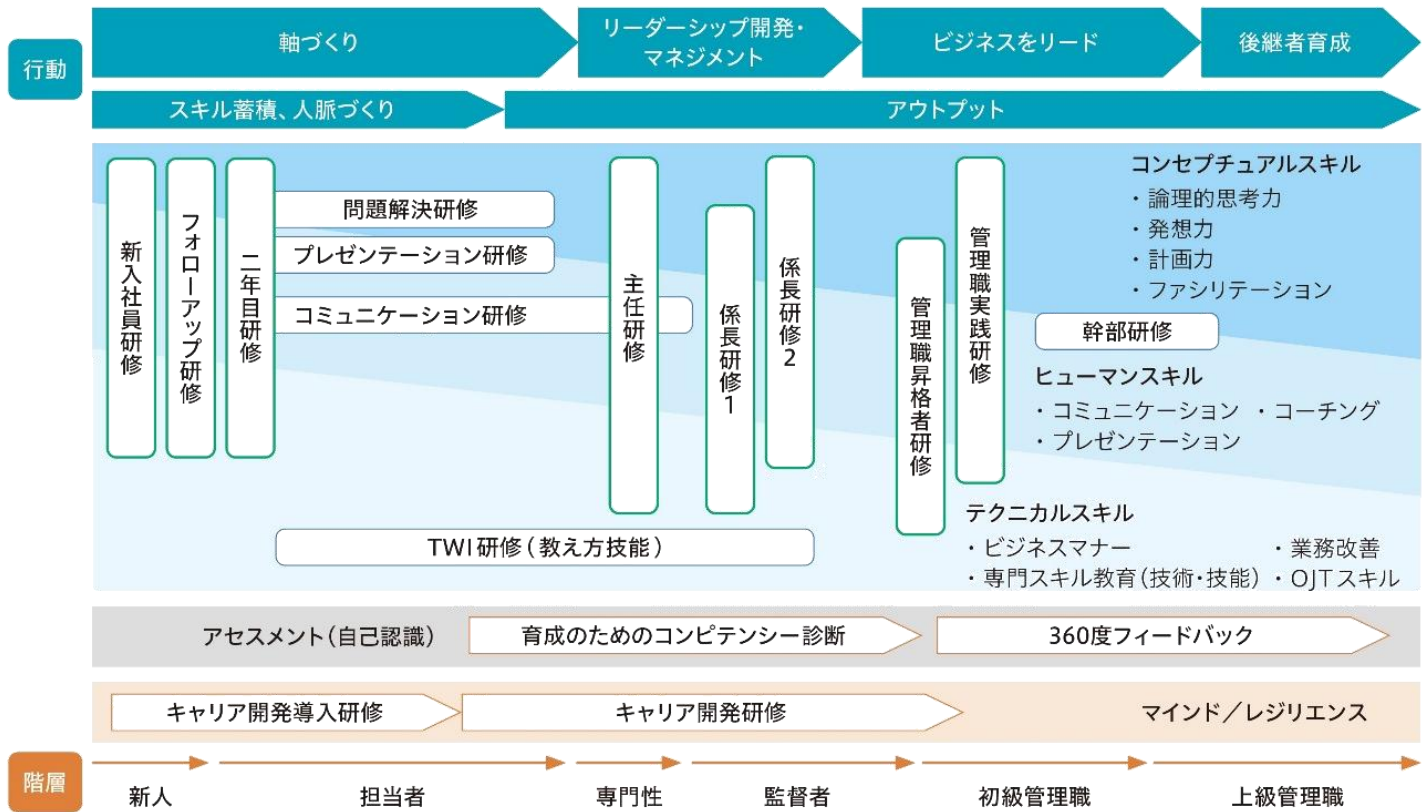
■ キャリア開発

- 一人ひとりの自律的な学びとキャリアに向け、キャリア研修を実施。
- 自分の強みを活かす自己啓発を支援。

■ 長期の成長支援

- 新入社員から上級管理職まで、必要なスキルを定め、学習機会を提供。
- 企業成長に併せ、研修を拡充、役割に応じたマネジメント研修を実施。

研修体系図



人材育成への取り組み

- 2017年に管理職を対象にジョブ型人事制度を導入。
- 2024年9月5日 内閣府ジョブ型人事推進会議で率先的な導入企業に選定。

東洋合成のジョブ型人事の特徴

- 「役割」と「業務で実践する」ことを重視し、仕事を定義
- 役割に応じた報酬水準の引き上げと公正な処遇
- 成長分野への公募制度の拡充
- スキルマップ作成と、キャリア開発・能力開発プログラムの拡充により、リスキリング機会を提供
- 業務遂行は、チームビルディングやワークショップなどの関係性構築や組織開発で、心に根差したマネジメントを志し、新たなチャレンジを生む文化を醸成

管理職の役割

- 組織目標の達成50% :
部下の育成・成長を通じて目標の達成
- 部下の育成50% :
目標達成に向けた業務を通じて部下を育成



■ 人権、コンプライアンス研修

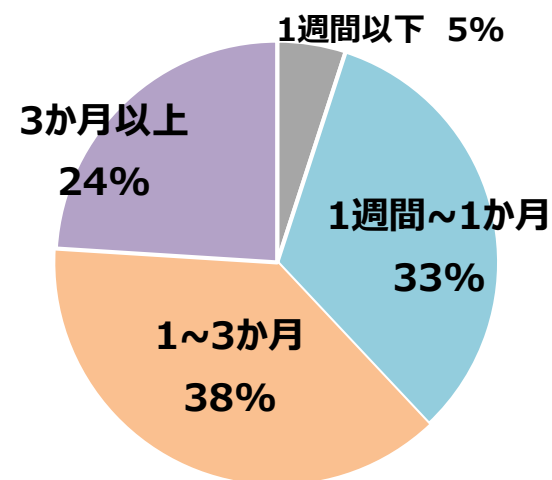
全役員・従業員を対象に、人を敬い尊重する「人権」への正しい認識を深めるため、ロールプレイの実践型研修により、人の様々な気持ちを体感する研修を実施。



■ ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン

- ・ 全社体制整備とともに、子育てシェア会、介護セミナーなどの社内研修やセミナーを開催。
- ・ 男性社員の育児休業取得率は80.8%に向上（前期比+23.1pt）

男性の育休取得期間



■ 健康経営

ウェルビーイングの一環として、健康経営優良法人2025（大規模法人部門）に2年連続認定



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

働きやすい職場の整備

- 一人ひとりの個性を尊重し人を大切にする、安心安全なやりがいのある職場づくりを推進。

■ 安全文化醸成ワークショップ、チームビルディング

「実感できる安全、自分ごととして捉える文化」の実現に向け、全工場で開催。
安全文化醸成、人材育成、組織開発の基盤として実施中。

関係性の構築
(本音での対話)



チームワーク強化
(真の課題解決)



人材育成
(未来への組織成長)

■ 職場環境の向上

開発分析棟（24年5月完成）に開発部門が
集結し、知の共創環境を整備。

■ 社員エンゲージメント

家族参加型の創立70周年感謝祭を事業所毎に開催、
成長の歴史振り返り、今後の成長に向けた一体感を醸成。

■ エンゲージメントサーベイ

毎年の定点観測により、マネジメントを改善。



70周年
過去10年の成長の軌跡



70周年
事業所イベント

●地域との共生を通して、日本の未来の創造を目指す。

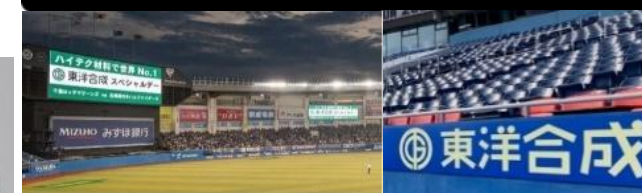
奨学金・研究助成・大学連携

- 奨学金・研究助成：
東庄町、千葉大、早大、東洋合成記念財団
- 千葉大学連携：
 - ・感光材黎明期からの学術連携
 - ・授業での連携「データ科学の実社会での応用と実際」
 - ・千葉大学基金への寄付拡大
- 千葉県 教育CSR認証：
 - ・感光材黎明期からの学術連携、出張授業



地元地域との連携

- 地元名産品の株主優待品
- 地元のスポーツ振興を支援：
 - ・千葉ロッテマリーンズ
 - ・鹿島アントラーズ



70周年の2024年、半導体市場は調整局面から回復し、生産能力増強投資も完了しました。

今期は、新設備・開発技術を活用し、社員一人一人を力を合わせ、安全を最優先に、中期経営計画「Beyond500」の達成、さらに日本や世界の未来の創造に向け邁進してまいります。

株主様やすべての関係者みなさまのご理解、ご支援に心より感謝し、ご期待に応えるべく、企業価値向上を目指してまいります。

皆様の引き続きのご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical



東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。